

BASE Vol.105

実践的基礎知識 ポートフォリオ特性の確認編(6)
 <ポートフォリオを評価する代表的な指標>

2019/11/28

ポートフォリオを評価する代表的な指標

ポートフォリオの収益性やリスクを分析し、評価するための代表的な指標である「シャープレシオ」、「トラッキング・エラー」、「インフォメーションレシオ」について確認しましょう。

シャープレシオ

「シャープレシオ」とは、リスクをとって運用した結果、安全資産(リスクがゼロと仮定した資産)から得られる収益(リターン)をどの位上回ったのか、比較できるようにした指標です。一般的には、ポートフォリオの年率換算後の収益率、標準偏差、無リスク資産利率が用いられます。数字が大きいほど、リスクに対して効率よくリターンを上げているといえます。

シャープレシオの算式

シャープレシオ

$$= \{ (\text{ポートフォリオの年率平均リターン}) - (\text{無リスク資産利率}) \} / (\text{ポートフォリオの標準偏差})$$

数字が大きい＝リスクに対して効率よくリターンをあげている

トラッキング・エラー

「トラッキング・エラー」とは、ポートフォリオのリターンとベンチマークのリターンとの乖離の大きさを示す指標で、アクティブリスクとも呼ばれます。ポートフォリオのリターンとベンチマークのリターンとの差(アクティブリターン)の標準偏差をとった値となります。数値が大きいほど、ポートフォリオの動きがベンチマークから乖離していたことを示します。

トラッキング・エラーの算式

トラッキング・エラー

＝アクティブリターンの標準偏差

$$\text{アクティブリターン} = (\text{ポートフォリオのリターン}) - (\text{ベンチマークのリターン})$$

数字が大きい＝ベンチマークのリターンとの乖離が大きい(大きなアクティブリスクをとっていた)

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

実践的基礎知識 ポートフォリオ特性の確認編(6) ＜ポートフォリオを評価する代表的な指標＞

インフォメーションレシオ

「インフォメーションレシオ」とは、アクティブ運用部分の評価に用いられ、ベンチマークに対する超過リターンを得るために、どのくらいアクティブリスクがとられたかを計測し、この数値が大きいほど、とられたアクティブリスクに対する超過リターンが高く、アクティブ運用の効率が低いことを示します。

なお、これらの指標が示すのは、あくまでも過去の運用成績にもとづいた評価であって、今後も同じような運用成績であることを示すものではないことにも注意する必要があります。

インフォメーションレシオの算式

インフォメーションレシオ
＝アクティブリターン÷トラッキングエラー

数字が大きい＝アクティブ運用の効率が低い